

ご報告

ボランティア養成&スキルアップ講座

6月23日(火) 6名参加!



今年度のボランティア養成&スキルアップ講座は、「今こそチャレンジ! 身近でできる支え合いボランティア」をテーマに開催しました。全国の支え合いボランティアさんの活動などをスクリーンで見ながら、私たちが今できることを考えてみました。また、後半では、村内で活動されている折り紙ボランティアの紹介と、実際に折り紙を体験してみました。



千葉県事例では、買い物代行やゴミ捨てボランティアなどで活動されている映像をみました。私たちは日常的に、ご近所支え合いの気持ちから、自然にお手伝いしている事も多いですね。



折り紙ボランティアの渡辺さんから、かわいいブーツと小さな箱作りを教わりました。



「折り紙は脳トレになるね・・・」「折る順番忘れちゃたよ!」みなさん一生懸命でいくつも挑戦していました。



最後にみんな写真パチリ!! お茶を飲みながらの歓談も楽しく、時間が過ぎるのも忘れ、もくもくと折り紙に夢中になり、とっつも温かい気持ちになれた幸せな時間でした。「うちに帰ったら、折り方忘れちゃうから、またやいたいね!」という声も聞かれました。参加されたみなさん、ありがとうございました。



ご案内

いざという時のために!

ボランティア活動保険のご案内

ボランティア活動保険に加入いただくと、ボランティア活動中のご自身の事故やケガ、また他人への損害賠償について補償されます。社協へボランティア登録している方のみ加入できます。

- ◆掛 金・・・基本タイプ：350円 天災タイプ：500円
- ◆補償期間・・・申し込み日～令和3年3月31日まで
- ◆申し込み・・・お金を添えて社協までお願いします。

※詳しいパンフレットは社協にあります。ご不明な点や詳細は、お気軽に社協までお問い合わせください。



コラム

災害ボランティアが活動再開!

昨年10月の台風19号災害のボランティア活動が、6月から新型コロナウイルスの影響で休止となっていましたが、ようやく再開されました。被災から半年以上たった今でも、ボランティアさんによる支援を必要とされている方がいらっしゃいます。コロナウイルス感染予防のため、被災地でのボランティア活動は市内在住者限定となっていますが、災害復興にはボランティアさんの力が欠かせません。私たちもできることがないか、考えていきたいですね。

◆中日新聞の記事より一部抜粋◆

新型コロナ特別措置法に基づく緊急事態宣言の解除を受け、長野市社会福祉協議会は3月21日も最後に休止していた台風19号災害のボランティア活動を6月から再開させた。千曲川の堤防が決壊した市内の被災地には高齢者が多く、感染リスクを抑えるため、参加者は市内在住者に限定し、感染防止策を徹底してもらう。長野市以外の自治体でもボランティアの支援を求める声があり、被災地の復興を支援してきた県災害時支援ネットワークも、県内各地で4月上旬から休止していたボランティア活動を再開させることを決めた。

